

1 はじめに

南宇和支部では、各校の情報教育主任を中心に情報教育委員会を構成し、「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践—教育の情報化の推進を通して—」を主題に研修を実施した。

2 教職員研修について

(1) 郡情報教育委員会

① 日時 平成28年4月26日(火) 13:30~16:15

② 場所 愛南町立城辺中学校

③ 内容

ア 役員の選出

イ 本年度の研究主題の検討・決定

ウ 研究計画

(ア) 期日 冬季休業中

(イ) 内容 実技研修(学校教育におけるタブレット端末等の活用について)

(2) 研究実践状況(情報教育実技研修会)

今年度、南宇和郡の全ての小・中学校でコンピュータの入替が行われ、新しくタブレット端末が導入された。全教員が研修を受講してはいるものの、授業でスムーズに活用するためには何度も継続して研修する必要がある。また、2020年からは、義務教育においてもプログラミング教育が導入されるようになるが、まったく新しい分野であるため、具体的な指導のイメージがもちにくい。

そこで、本委員会の会員である各校の情報教育主任や教務主任が、タブレット端末を中心としたICTの活用方法や、プログラミング教育の在り方について理解を深めることができるような研修を行った。研修では、まずタブレット端末の具体的な活用の仕方や効果的なアプリケーションについて研修した。次に、プログラミング教育が導入された社会的背景、義務教育におけるプログラミング教育の進め方、具体的なプログラミングの指導などについての研修をした。

① 日時 平成28年12月27日(火) 15:00~16:30

② 場所 愛南町役場本庁 参加人数 32名(教務主任研修会と同時開催)

③ 講師 県総合教育センター情報教育室 野村竜也 指導主事

④ 内容

ア ICTを活用した授業改善

○ 教育の情報化に向けて

○ 教科指導におけるデジタル機器の活用

○ タブレット端末の活用パターン

○ タブレット端末の様々な使い方

イ プログラミング教育の在り方

○ プログラミング教育推進の背景

○ 義務教育におけるプログラミング教育

○ プログラミング教育アプリケーション



3 成果と課題

今年度は、「タブレット端末を使った授業改善」という目の前に迫った課題、それから「プログラミング教育」という近い将来間違いなくやってくる課題の2本立てで研修を行う形となった。どちらも非常に大切な内容である。県総合教育センターのサテライト講座を活用し、充実した研修になった。2030年の初めには、コンピュータの計算能力は、人間の生物的な知能の容量と同等に達し、2045年には一つのコンピュータの能力が全人類の能力を超える(シンギュラリティ)と言われている。目の前の子どもたちが、このような社会を生き抜いていくために私たちはどのような指導ができるのか、情報教育委員会としても考えていかなければならない。